

平成26年度代議員会報告

日 時／平成26年5月24日(土) 13時30分～16時
場 所／鶴岡ワシントンホテル 3階大会議室
出席者／菅原義昭代議員ほか33名

開会及び議事進行は渡邊一哉事務局長があたった。議事に先立ち佐藤辰一会長が挨拶を行った。また、西澤隆農学部長、大沼男校友会事務局長より祝辞を頂いた。

議長に松坂茂也氏、議事録作成者に新井大輔氏、議事録署名人に長谷川篤夫氏、菅原敬氏を指名した。

議 事

【1】第1号議案 平成25年度事業並びに 活動報告について

事務局長は平成25年度事業並びに活動報告の説明を行った。審議では、庄内支部の長谷川篤夫氏より活動助成における苦労した点や、各支部の活動状況について説明を求めた。これに対し会長は、福島県支部の立ち上げの進行状況や、関東支部に新潟も含まれることになった事を説明した。議案は原案通り承認された。

【2】第2号議案 平成25年度 収支決算書の承認について

佐久間会計幹事が平成25年度収支決算及び、平成25年度特別会計積立金収支決算について説明を行った。続いて藪田会計監事から監査報告があった。審議に入り、庄内支部の長谷川篤夫氏は20年会費より管理費として借用した50万円の詳細についての説明を求めた。これに対し会計幹事は鶴窓会ホームページのリニューアルのために借入れを行い、今後5年間で返済する計画であることを説明。議案は原案通り承認された。

【3】第3・第4号議案 平成26年度事業計画(案) 及び、平成26年度 収支予算(案)について

事務局長は平成26年度事業計画(案)について説明を行った。

齋藤副会長が創立70周年記念事業についての説明を行った。会計幹事が平成26年度収支予算(案)の説明を行った。審議に入り、関東支部の眞嶋敏晴氏から①創立70周年記念事業について、幹事会の審議を経ての立案かどうか、また②平成26年度収支予算(案)について収入の会員年会費予算額の詳細について、③農学部支援予算額が前年度と比較して減少している点についてそれぞれ質問があった。齋藤副会長は、①について添付した資料は参考資料であり、内容は今後農学部と協議していく旨を。会計幹事は②について前年度決算額に目標値として上乗せを行ったと。齋藤副会長は③について研究支援費の減少が原因である旨を説明した。

会報費予算額が前年度と比較して減少した理由について説明を求めた。これに対し会長は鶴窓会だより発行は主要な事業なので予算の削減は見合わせたいところだが会費収入の減もありページ数を若干減らし編集発行したいと説明した。関東支部の佐藤善作氏は農学部支援費について前年度予算額と平成26年度農学部支援費予算額とが異なっている点について説明を求めた。会計幹事は卒業式補助費を農学部支援費に組み込んだためで、実情は変化していない旨を説明。庄内支部の長谷川篤夫氏は名簿費内名簿管理委託費とホームページ管理費の詳細について説明を求めた。会計幹事はいずれも業者委託費用であることを説明した。

【4】第5号議案 慶弔・表彰・旅費に 関する規程(案)

齋藤副会長は慶弔・表彰・旅費に関する規程(案)について説明を行った。審議に入り関東支部の岩城功希氏は議案提起の経緯に対し説明を求めた。これに対し事務局長は幹事会に対する事務作業不手際を謝罪。また、岩城功希氏は経費削減案として、役員数支部

強化費の削減、山形県内の支部の統合、10年以上会費未払いの会員については会報を送付しないなどを提案し、幹事会及び事務局に対し検討を求めた。また、宮城県支部の日下喜博氏は鶴窓会の事業及び予算を全体的に見直し、会の運営を進める必要があると提案。北海道支部の菅原義昭氏は会費の支払い方法について、コンビニエンスストア利用などの提案。また、庄内支部の長谷川篤夫氏は役員削減を行うことを提案。これらを受け会長は第5号議案を取り下げることとした。

関連して菅原副会長は、前受金として取り扱っている20年会費について、今後どのように扱い、活用していくか意見を求めた。これを受け庄内支部の長谷川篤夫氏は幹事会及び事務局で協議してもらいたい旨の提案があった。議案取り下げにより採決は行わなかった。

【5】その他

関東支部の眞嶋敏晴氏は別紙資料に事務局会議事録とあるが、会則には事務局会議は無いため説明を求めた。これに対し事務局長は事務局での業務打ち合わせを事務局会議と呼称しており、その会議録を事務局会議事録としてい



る旨を、名称については今後会則に沿った名称を事務局で協議すると説明した。また最上支部の岩井利夫氏は、事務局会議事録は幹事にとって事務局の運営状況を確認するための重要な資料であるとして作成の継続を求めた。

また、宮城県支部の菅沢悌也氏より今後の会の運営について、学科やコース等学内組織との連携を強化し、会費納入率を向上させる方法を模索する必要があると提案があった。

最後に事務局長より、代議員会の開催時期を変更したい旨の提案を行い、今後会則の改定も視野に入れ事務局にて協議をすることとした。



平成26年度 代議員会 平成26年5月24日(土) 於 鶴岡ワシントンホテル

平成26年度事業計画 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

1. 会員相互の連絡を密にし、親睦を図る。
 - 1) 代議員会の開催
 - 2) 各支部の強化のため活動助成を行う。
 - 3) 東北各県の支部設立に向けて支援する。
 - 4) ホームページの充実を図る。
 - 5) 同期会等の開催を支援する。
2. 会報「鶴窓だより21号」を発行する。

平成26年12月に発行予定。
積極的に支部から寄稿を募る。
学生研究支援事業の成果について掲載する。
3. 農学部との連携を強化する。
 - 1) 「山形大学農学部学生研究支援事業」を継続する。
4. 地域連携推進協議会へ参加する。
 - 3) 学位記授与式及び卒業生・修了生を送る会に出席し、卒論優秀者を表彰する。
 - 4) ホームカミングデーと農学部大学祭(鶴寿祭)に参加する。
 - 5) 「山形大学農学部創立70周年記念事業」に協力する。
4. 山形大学との連携を図る。
 - 1) 山形大学校友会行事「ビーチサッカー」に参画する。
 - 2) 山形大学校友会理事会に出席する。
5. 「鶴窓の森」の整備に協力する。
6. その他
 - 1) 幹事会…5月と12月に開催する。
 - 2) 事務局会議…適宜に開催する。
 - 3) WindowsXPサポート終了に伴い、事務作業用PCの更新を図る。

新任

平成26年4月1日付け【採用】

藤井 秀人 教授 食料生命環境学科(水土環境科学コース)
 松山 裕城 准教授 食料生命環境学科(安全農産物生産学コース)

退職

平成26年3月31日付け【定年退職】

安藤 豊 教授 食料生命環境学科(安全農産物生産学コース)
 大久保 博 教授 食料生命環境学科(水土環境科学コース)
 貫名 学 教授 食料生命環境学科(植物機能開発学コース)

佐藤 英世 教授 (平成26年3月31日付け退職【新潟大学医学部へ】)

人事異動

追悼

木田元さんを偲ぶ

若松 幸夫

(昭和25年農科卒)

日本におけるハイデッカー研究の第一人者として知られる哲学者である木田元さんの訃報を新聞紙上で知った。心から御冥福をお祈りします。

彼は海軍兵学校在校中終戦、帰郷を命ぜられたが、国内に実家がある場合は問題がなかったが、当時は旧満州、朝鮮などから入学した者もあり、木田さんもその一人であり、その時の心境はいかばかりだったかと思われてならない。

ようやく、つきとめた新庄の遠戚の家に居候するまで、テキ屋の手足になったという。考えてみれば16才の頃の話である。

昭和22年秋、家族が無事引き揚げてこられて、さぞかしホッとしたことと思われるが、長男の責任として四人を養うための苦悶、やみ商売で二山あてて農専に入学したもののインフレで貯金は底をつき、闇米運びを続けたというが、お先真つ暗だったという。

そういう中で、農専でなければ

ばできない友人ができ、また彼を理解してくれる教授との出会い、おやしさんのシベリアからの帰国もあって家族を養う心配もなくなり、普通の学生として過ごすことになる。

彼は鶴岡に農専が出来たから入学したと云う組で、戦後の混乱経済状態などで、彼と同じような方々がいたようである。

彼は、鶴岡の旧家の三井家の長男と親しくなつて、彼の基本的教養は三井家の蔵書とレコードで養われていくことになる。翻訳小説を読みまくっているうちに大学の哲学科に入る決心をしたと云う。

彼は子供の頃から記憶力は抜群によく、その能力をフルに活用したという。そのきっかけは化学の追試験で、バカデッカー「有機化学」という本を丸暗記して対応し、そこでものをおぼえることに強い自信がもてるようになったと云う。もともと頭の良い方であったが、それ以上

に血のにじむような努力をされたことが想像される。

東北大入学後も旧制高校から来た連中に負けないで、二十数時間勉強し、一番で卒業して大学院にすすんでいる。

戦後の苦しい時代を乗り切ってきた自信が常に彼の人生の糧になつてきたように思う。「闇屋から哲学」これが彼の強味であると思うが、農専の三年間は無意味でなく、一番楽しく思い出され、「鶴岡は、わがアルト・ハイデルベルヒ」といわれており、鶴岡住人としては極めて嬉しいことである。

そして農学部50周年記念講演では、農専二期農科出身の木田さんが講演されたことは、同期生として何より嬉しいことであった。



訃報

謹んで哀悼の意を表します。

()ご逝去年月日

昭和28年林学科卒	西田 久臣 氏(平成20. 9. 4没)	昭和26年農科卒	柏倉 昌経 氏(平成26. 2.15没)
昭和36年農学科卒	佐藤 達男 氏(平成24. 1.12没)	昭和25年林科卒	常井 主水 氏(平成26. 2.20没)
昭和28年農学科卒	三浦 博 氏(平成24. 9.19没)		(前最上支部長)
昭和31年農学科卒	小沼 洋一 氏(平成25. 6. 8没)	昭和40年農学科卒	九嶋 賢悦 氏(平成26. 2.22没)
昭和32年林学科卒	小松 誠 氏(平成25. 7. 5没)	昭和43年林学科卒	石川 俊彦 氏(平成26. 5.13没)
昭和34年農学科卒	高橋 良信 氏(平成25. 8. 4没)	昭和25年農科卒	木田 元 氏(平成26. 8.16没)
昭和59年農芸化学科卒	大久保 富貴男 氏(平成25.10. 5没)	昭和39年農学科卒	高橋 辰夫 氏(平成26. 8.19没)
昭和29年農学科卒	花岡 竹雄 氏(平成25.10.18没)	昭和51年農学科卒	早坂 真一 氏(平成26.10. 2没)
昭和44年農業工学科卒	菅原 哲 氏(平成25.12.14没)	昭和25年農科卒	森 好郎 氏(平成26.10.25没)
昭和25年農科卒	坂 清治 氏(平成26. 1. 1没)		(前置賜支部長)
昭和30年林学科卒	鍛冶 茂 氏(平成26. 1.22没)	元助教授	石橋 秀弘 氏(平成25. 2.14没)
昭和34年農学科卒	川田 守彦 氏(平成26. 2.15没)	元教授	水之江 正輝 氏(平成25.12.30没)

平成25年度 決算

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)単位:円

収入			
科	目	予算額	決算額
会費		5,170,000	4,795,000
	会員年会費	3,000,000	2,639,000
	20年会費	2,170,000	2,156,000
入会金	新入生入会金	825,000	805,000
名簿	名簿収入	0	12,500
寄附金	寄附金等	10,000	38,400
雑収入	預貯金利息等	1,000	74,559
繰入金	繰入金	0	0
繰越金	前年度繰越金	843,934	843,934
	合計	6,849,934	6,569,393

支出			
科	目	予算額	決算額
事業費		4,092,500	3,693,735
	会報費	1,800,000	1,677,189
	会報印刷費	770,000	747,600
	払込票等印刷費	480,000	379,665
	会報通信費	550,000	549,924
	名簿費	335,000	328,550
	名簿管理委託費	315,000	315,000
	名簿関連通信費	20,000	13,550
	名簿印刷費	0	0
	農学部支援費	838,000	706,409
	謝金	130,000	130,000
	支部結成・強化費	756,500	619,007
	慶弔費	20,000	18,080
	入会手続費	13,000	12,500
	卒業式補助費	200,000	202,000
管理費		2,702,000	2,593,841
	会議費	140,000	118,064
	賃金	1,300,000	1,227,500
	旅費	540,000	534,900
	通信費	260,000	259,310
	備品費	0	0
	需用費	80,000	75,576
	事務所費	145,000	135,751
	ホームページ管理費	225,000	231,000
	雑費	12,000	11,740
予備費	予備費	55,434	45,000
	合計	6,849,934	6,332,576
収入-支出 次年度へ繰越			
6,569,393 - 6,332,576 = 236,817			

平成25年度 特別会計積立金決算

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)単位:円

収入			
科	目	予算額	決算額
積立金	20年会費積立金	3,300,000	3,220,000
雑収入	預金利息等	13,000	8,705
繰越金	前年度繰越金	29,577,726	29,577,726
	合計	32,890,726	32,806,431

支出			
科	目	予算額	決算額
積立金	20年会費積立金	79,000	118,000
繰出金	一般会計に繰出	2,170,000	2,156,000
予備費	予備費	30,641,726	0
	合計	32,890,726	2,274,000
収入-支出 次年度へ繰越			
32,806,431 - 2,274,000 = 30,532,431			

平成26年度 予算

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)単位:円

収入			
科	目	予算額	前年度予算額
会費		4,772,000	5,170,000
	会員年会費	2,800,000	3,000,000
	20年会費	1,972,000	2,170,000
入会金	新入生入会金	815,000	825,000
寄附金	寄附金等	10,000	10,000
雑収入	預貯金利息等	1,000	1,000
繰越金	前年度繰越金	236,817	843,934
	合計	5,834,817	6,849,934

支出			
科	目	予算額	前年度予算額
事業費		3,027,000	4,092,500
	会報費	1,526,000	1,800,000
	会報印刷費	500,000	770,000
	払込票等印刷費	460,000	480,000
	会報通信費	566,000	550,000
	名簿費	338,000	335,000
	名簿管理委託費	324,000	315,000
	名簿関連通信費	14,000	20,000
	農学部支援費	570,000	1,038,000
	研究支援費	300,000	718,000
	鶴窓の森支援費	50,000	100,000
	鶴寿祭支援費	20,000	20,000
	卒業式補助費	200,000	200,000
	謝金	130,000	130,000
	支部結成・強化費	430,000	756,500
	慶弔費	20,000	20,000
	入会手続費	13,000	13,000
管理費		2,689,000	2,702,000
	会議費	122,000	140,000
	賃金	1,300,000	1,300,000
	旅費	550,000	534,900
	通信費	267,000	260,000
	備品費	120,000	0
	需用費	78,000	80,000
	事務所費	140,000	145,000
	ホームページ管理費	0	225,000
	返済	100,000	0
	雑費	12,000	12,000
予備費	予備費	118,817	55,434
	合計	5,834,817	6,849,934

平成26年度 特別会計積立金予算

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)単位:円

収入			
科	目	予算額	前年度予算額
前受金	新入会員会費	3,260,000	3,300,000
	既会員会費	30,532,431	29,577,726
	払戻	100,000	0
雑収入	預貯金利息	8,000	13,000
	合計	33,900,431	32,890,726

支出			
科	目	予算額	前年度予算額
前受金	退学者へ返金	118,000	79,000
	一般会計に繰出	1,972,000	2,170,000
	貸付	0	0
	積立金	31,810,431	30,641,726
	合計	33,900,431	32,890,726

鶴窓会幹事及び代議員名簿

(平成25.4.1～27.3.31) ()卒年 ○学内

会 長	佐藤 晨一(農S41)		代 議 員		
副 会 長	齋藤 博行(農S45)	○柳原 敦(林S55)	北海道支部	菅原 義昭(農工S40)	早坂 武男(林S41)
	菅原 幸司(農化S49)			柴田 稔(農S42)	小野寺喜作(農S54・修S56)
監 事	数田 直右(農工S45)	○加来 伸夫(農化H4・修H6)	庄内支部	数田 直右(農工S45)	長谷川篤夫(農S54)
顧 問	若松 幸夫(農専S25)	菅原 賢治(農S33)		芳賀 修一(農S46)	松坂 茂也(農S58)
	佐藤 輝康(農S28)	帯谷 行夫(農S29)		大谷 博彌(林S46)	○角田 憲一(農S63・修H2)
幹 事				阪口 新一(園S47)	○堀口 健一(農H2・修H4)
北海道支部	菅原 義昭(農工S40)			粕谷 博志(農S48)	菅原 敬(農H3)
庄内支部	鶴田 嘉男(農工S38)	阿部 重彰(農S48)		斎藤 隆(農S49)	○加来 伸夫(農化H4・修H6)
	佐藤 晨一(農S41)	大川 元弥(農S49)		阿部 敏明(農化S50)	○佐々木由佳(生H9・修H11)
	五十嵐喜治(農化S44)	菅原 幸司(農化S49)		○高橋 孝悦(林S52・修S54)	○新井 大輔(環H18)
	佐久間憲生(農S45)	○柳原 敦(林S55)		○加藤 淳(園S53)	遠藤 文子(修H21)
	高橋 敏能(農S45)	○渡邊 一哉(環H8・修H10)		最上支部	佐藤 利美(農S56)
最上支部	岩井 利夫(農工S45・修S47)		村山支部	那須 洋一(林S44)	石澤 孝司(農S59・修61)
村山支部	栗野 省三(農化S44)	佐藤 孝宣(園S47)		阿部 芳幸(農S45)	岩田 俊彦(園S62)
	齋藤 博行(農S45)			大内 崇(農S46)	森 亮悦(資H17)
置賜支部	石川 庄一(農S52)		置賜支部	小川 洋(農工S43)	
宮城県支部	富樫 千之(農工S51)		宮城県支部	及川 浩好(農化S53)	菅沢 梯也(農工S57)
関東支部	山本 千秋(林S41)	眞嶋 敏晴(林S43)	関東支部	岩城 功希(農工S38)	眞嶋 敏晴(林S43)
関西支部	岡 勝行(園S50)			山本 千秋(林S41)	
			関西支部	安富 俊晴(農工S38)	岡 勝行(園S50)
			事 務 局	事務局長	○渡邊 一哉(環H8・修H10)
				庶 務	○新井 大輔(環H18)
				会 計	遠藤 文子(修H21)

「鶴窓会だより第20号」発送後の会員の声

- フルカラーになって会報そのものが明るく温かくなった感じがします。スポーツを中心に元気に暮らしています。
- 「たより」を楽しみにしています。
- 毎年「鶴窓会だより」が楽しみです。体調に合わせてゴルフ、詩吟、都山流尺八の趣味をバランスよくこなしているつもりです。昨年親交のあった友人を失い淋しさがつのります。
- 「鶴窓会だより第20号」をお送りいただき有り難く御礼申し上げます。本回のは1頁目のところから「だより」の仕上がりが美しく、紙も良くオールカラーで印刷され、わが「鶴窓会」も一段と見応えのする会になったものだあと感服しました。
- 鶴窓会だより充分読ませて頂いた多くの元気を注入し、残日に向う。
- ①活字を少し大きくして欲しい。
- ②各支部の開催は期日だけで詳細は不用、ページ数削減できる。
- ③もつと学部内の研究活動、方向を知りたい。地域密着型の方向を知りたい。④以上活用して経費の削減をはかるべきではないか。
- 住所不明者数名を存じておりますが個人情報のため控えます。各人へは以前報告済みです。何か良い方法があると良いのですが…。
- おかげ様で無事暮らしております。今年も雪も積もらず風も弱くおだやかな日々です。同窓会の益々の発展を祈念致します。
- 日々進化している母校に誇りを感じました。
- 先日は鶴窓会だよりをお送りいただきまして有り難うございました。読ませて頂く内、演習林の回想という金内先生の文をみて亡き夫もよく演習林の事は色々話題にするものでしたが今頃になってもっと上手に聞いてあげれば良かったと思ったりしました。本当に有り難うございました。(遺族様より)
- 元気にしています。コンビニで処理できるようにしてください。
- (要望)会費納入者名を公表したら？(以前も要望しましたが)「高校では発表しています」
- 趣味活動(菊づくり・水墨画)を楽しみに元気に過ごしております。鶴窓会だより大変良くできています。皆様の健康を祈念申し上げます。
- 退職後農業に従事しています。東日本大震災で石巻市はもっとも被害が大きく、以来全国のボランティア(登山団体中心)の受け入れ活動を行っています。
- 卒業後半世紀有余の80歳になりました。お陰さまで元氣学究の気概を忘れずに晴耕雨読の日々です。
- 「鶴窓会だより第20号」をいただきありがとうございます。内容も豊富でまた学科編成等大学の動きを知ることが出来ました。